

2 0 2 5 年度事業計画

2 0 2 5 年度収支予算

学 校 法 人 山 脇 学 園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 山脇学園（平成15年10月1日法人設立）
 代表者 理事長 山脇 義道
 住 所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
 電 話 072-751-1828
 F A X 072-751-1826

設置する学校及び保育園

住 所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
 名 称 友星幼稚園
 住 所 大阪府箕面市森町中1丁目1番地6号
 名 称 森町友星保育園
 役 員 理 事 6名 監 事 2名
 評議員 13名
 理事会 2回開催 評議員会 2回開催
 職 員 70名（幼稚園 41名、保育園 29名）

【 友星幼稚園 】

《教育方針》

やさしく思いやりのある子ども・強くたくましく元気な子ども・豊かな感性をもつ子ども

《教育内容》

通常保育の中に絵画、英語、体育の専門の講師との活動も入れ子どもたちの協調性や創造性、やり通す精神力など調和のとれた心と体づくりをめざしています

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	12	2	40	2	55	2	55	7	162
2023年度	1	12	2	27	2	51	2	51	7	141
2024年度	1	18	2	44	2	44	2	50	7	156
2025年度	1	18	2	47	2	44	2	44	7	153

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時

《納付金》

保育料 無償化のため徴収なし
 教材費 月額 1,300円
 教育充実費 月額 3,000円

《上乗せ徴収》

給食費 月額 5,500円
 通園バス 月額 3,500円

《入園時の費用》

入園料 [3・4歳児] 50,000円 [5歳児] 25,000円
検定料 1,500円

《預かり保育の時間及び費用》

月曜～金曜日

午前8時～8時30分 (500円)

午前8時31分～8時44分 (250円)

午後2時～午後6時 (1,000円)

午後6時1分～午後6時30分、午後6時31分～午後7時 (各500円)

土曜日

午前9時～午前11時30分 (1,000円) ※勤務証明書が必要

午前9時～午後5時 (弁当持参) (2,000円) ※勤務証明書が必要

◎月極制度有 (12,000円～)

◎春・夏・冬季の長期休暇中も実施 (年末年始・年度末・年度始め除く)

《行事予定》

園外保育、保育参観日、納涼保育、お泊り保育、運動会、生活発表会、作品展、誕生会 (毎月)、身長・体重測定 (毎月)

《施設関係》

園地面積2,765㎡ 運動場面積1,250㎡ 園舎面積651㎡

施設点検を怠らず、維持検討のため修繕費用を計上。

《設備関係》

機器備品等の更新の有無を判断し予算計上

【 森町友星保育園 】

《保育方針》

乳児期・・・よくたべる子ども、よくねむる子ども、よくあそぶ子ども

幼児期・・・やさしく思いやりのある子ども、強たくくましく元気な子ども、豊かな感性をもつ子ども

《保育目標》

身体は元気に、心は豊かに

保 育 園 定員60人	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	
2023年度	3	30	24	4	1	3	65
2024年度	3	17	28	0	3	1	52
2025年度	9	18	18	4	1	3	53

《保育時間》

開園時間 午前7時

閉園時間 午後7時30分

保育時間 午前9時～午後5時

《計画内容》

我が国の年平均気温及び日本近海の年平均海面水温はいずれも、これまでの1位の記

録（２０２４年）を大きく上回って統計開始以降最も高い値となった。特に東・西日本と沖縄・奄美で記録的な高温となり、夏・秋の２季節連続で季節平均気温が１位の高温となった。世界の年平均気温も、これまでの１位の記録（２０２４年）を大きく上回って統計開始以降最も高い値となった。この結果、当園の運営上、運動会等の行事の実施時期を見直すことが急務となり、保護者へ説明を進めている。

また、出生数の減少ペースに明らかな加速が認められた２０１６年から２０２３年までの年平均の減少率は４．０％であったが、２０２４年の国内の出生数（速報値）が過去最少の７２万９８８人なる見込みを公表した。

子育て世代が、将来に夢を描くことが出来ない政治・経済及び社会状況にあるととらえ、子どもを持ちたいという気持ちが失われ、少子化の進行は止まらない状況になっている。

教職員採用は相変わらず、厳しい状況が続き、離職者を出さないよう職場の雰囲気向上に努め、教職員組織の安定を常に考えている。新年度より、育児・介護休業法の見直しがあり、育児・介護休業に関わる規定をより丁寧に説明することが求められることになるが、現状は、運営上、復帰後の短時間勤務への対応が追い付いていない状況になっている。

園児募集については、保護者のニーズに対応することが重要であるので、預かり時間、教育内容、納付金等について、ホームページを一層充実し、丁寧な情報発信を進めている。特に、未就園児クラスの充実及び満３歳児入園者の獲得が一層重要になっているので、通年募集の体制で取り組むこととする。

支援を要する園児が増加しているが、クラス運営を円滑にできるよう、支援に対応できる人員を確保しながら、支援への研究・研修を深めていくこととする。

また、保護者から、募集の際、預かり時間を重視する傾向は続いているが、卒園後の学童保育について相談されることがあり、卒園児を対象に小学校４年までの学童保育の実施が可能かどうかを検討している。更に小４プログラムも研究課題として認識している。

４月より、私立学校法改正に伴う、新寄附行為による運営が始まるが、内容を確認しながら、適切に対応していきたい。

２０２５年度は、大阪府の幼稚園の状況は１１０園が私学助成を継続するようであるが、当園は、私学助成の幼稚園と保育園を運営している。新年度の園児数は、前年度より３名減７学級１５３名のスタートとなる。また、森町友星保育園の園児数は、前年度より１名増５３名のスタートとなる。

財務状況については、事業活動収支計算書より、幼稚園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が１５１，０１３千円、教育活動支出計が１５０，９７０千円となり、教育活動収支差額は４３千円プラスとなる。また、保育園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が１３１，３００千円、教育活動支出計が１２７，６０５千円となり、教育活動収支差額は３，６９５千円のプラスとなる。学園としては、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は３，７３８千円のプラスとなる。

《収支予算》

別紙のとおり

幼稚園部門

保育園部門